

鈴木 舞 (SUZUKI Mai)

研究課題名 中国殷代社会構造の研究

キーワード 中国考古学、殷、青銅器
青銅器銘文（金文）
製作技術、レプリカ法

身分 日本学術振興会特別研究員 PD
(2015年4月～2018年3月見込)



連絡先 東京大学東洋文化研究所 609 室

1. 研究テーマ

現在の研究テーマは、殷周青銅器の生産・流通システムの解明である。現在、特に青銅器の実見調査に基づく製作技術研究を通して、青銅器生産のあり方を検討中である。また最近は銘文にも関心をもっている。従来出土文字資料としてその内容が重視されてきた殷周青銅器銘文を、当時製作されたモノとして捉え直し、文字の形態的特徴（字体・字形）や製作法といった考古学的な側面に着目し、文字に対して考古学的な系統分析を行うことで、銘文を含む青銅器がどのような体制で生産されていたのか復元を試みている。

2. 経歴

2015.04～現在 日本学術振興会特別研究員 PD
2016.07～2016.08 台湾中央研究院歴史語言研究所・訪問学人
2013.04～2015.03 日本学術振興会特別研究員 DC2
2009.09～2012.07 中国北京大学考古文博学院・高級進修生
2009.04～2015.03 東京大学大学院博士後期課程（考古学）
2006.04～2009.03 東京大学大学院修士課程（考古学）
2004.04～2006.03 北海道大学文学部（東洋史学）
2001.04～2004.03 北海道大学水産学部（海洋生産システム学）

2015.09 博士（文学）〔東京大学〕

3. 教育活動

茨城大学人文学部・非常勤講師・「中国考古学Ⅰ」（2012.10～現在）
茨城大学人文学部・非常勤講師・「中国考古学Ⅱ」（2014.10～2016.03）
城西大学経営学部・非常勤講師・「文化人類学」（2016.04～現在）

4. 業績

[著書] 鈴木舞『殷代青銅器の生産体制』六一書房（2017年刊行予定）

[論文]

（海外誌）

鈴木舞・石谷慎 2014 《盘龙城杨家湾出土硬陶与相关问题》，武汉市政府、武汉大学、湖北省文物局《盘龙城与长江文明国际学术研讨会论文与提要汇编》，pp65-77

鈴木舞 2012 《关于东京大学文学部陈列室收藏的青铜爵—从青铜器制造技术看商代早期青铜器》，中国社会科学院考古研究所夏商周考古研究室编《三代考古》，第4号，pp203-227

鈴木舞 2011 《关于殷墟小屯东北地铸铜作坊年代的再探讨》，中国社会科学院考古研究所编著《殷墟与商文化—殷墟科学发掘80周年纪念文集》，科学出版社，pp187-201

（国内誌・査読有）

鈴木舞 2015 「殷金文の字体と工房—殷墟花園莊東地五四号墓「長」字銘の分類—」、『中国出土資料研究』、中国出土資料学会、第19号、pp30-62

石谷慎・鈴木舞・廣川守 2015 「紋様と銘文から見た鬲氏編鐘の製作体制」、『FUSUS』、アジア鑄造技術史学会、第7号、pp1-20

鈴木舞 2013 「湖北盤龍城遺跡における青銅礼器の生産—青銅爵・鼎・罍を中心に—」、『中国考古学』、日本中国考古学会、第13号、pp49-73

鈴木舞 2008 「殷墟小屯東北地工房に関する再検討」、『中国考古学』、日本中国考古学会、第8号、pp103-123

（国内誌・査読無）

鈴木舞 2015 「殷代青銅武器とその銘文—字体・字形からの検討—」、『東京大学考古学研究室研究紀要』、東京大学考古学研究室、第29号、pp1-16

鈴木舞 2014 「殷代骨筭・象牙筭の広がり—殷代筭考（2）—」、飯島武次編『中華文明の考古学』、同成社

鈴木舞 2011 「殷墟遺跡出土の鳥形骨筭に関する小考察」、『東京大学考古学研究室研究紀要』、東京大学考古学研究室、第25号、pp33-64

鈴木舞 2010 「東京大学文学部列品室所蔵青銅爵に関する考察—特に製作技術の面から—」、『東京大学考古学研究室研究紀要』、東京大学考古学研究室、第24号、pp1-28

[学会発表]

（国際会議）

SUZUKI Mai 2016 “A Study on the Classification of the Bronze Inscription in Shang Dynasty” The 8th World Archaeological Congress, August 28th-September 2nd 2016, Kyoto, Japan.（口頭発表）

SUZUKI Mai 2016 “The Basic Research on the Production System of the Bronze Inscriptions in Shang Dynasty: The Classification of the Character “Chang” on the Bronze Vessels and Weapons Excavated from Tomb No.54 in Huayuanzhuang-east Cemetery at Yinxu Site” . 7th Society for East Asian Archaeology. June 8-12 2016, Boston, U.S.A. (口頭発表)

鈴木舞 2016 《妇好墓铜器群之制作单位—以铭文字体为主—》、第一届中国考古学大会、中国考古学会主辦、中国、河南省、鄭州、2016年5月(口頭発表)

鈴木舞 2013 《商代骨笄与象牙笄的生产与流通》, 夏商都邑考古暨纪念偃师商城发现30周年国际学术研讨会, 中国社会科学院考古研究所、中国殷商文化学会、河南省文物局、河南省偃師市人民政府主辦、中国、河南省、偃師、2013年10月(口頭発表)

鈴木舞 2012 《从铜戈来看的殷墟社会演变》、东亚青铜冶铸技术研讨会、中国、河南省、安陽、2012年8月(口頭発表)

鈴木舞 2008 《小屯东北地铸铜遗址年代的再探讨》、纪念世界文化遗产殷墟科学发掘80周年考古与文化遗产论坛、中国、河南省、安陽、2008年10月(口頭発表)

(国内会議)

鈴木舞 2016 「レプリカ法を用いた銘文製作法研究の試み」、日本中国考古学会、第27回大会、京都、2016年11月(ポスター発表・受理済)

内田純子・岳占偉・廣川守・三船温尚・飯塚義之・鈴木舞 2016 「殷墟青銅器鑄型の復元実験」、アジア鑄造技術史学会、第10回大会、岡山、2016年9月(口頭発表)

鈴木舞 2016 「古代中国の考古学一般周青銅器とその文字—」、東京大学総合研究博物館「知の回廊」記念連続講演会、東京、2016年7月(口頭発表)

鈴木舞 2016 「殷周青銅器銘文に関する—考察—花東 M54 を例に—」、日本中国考古学会関東部会、第173回例会、東京、2016年6月(口頭発表)

鈴木舞 2016 「殷周金文はどう作られたか—金文研究への新アプローチ—」、東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門主催、「つながる・史料と研究」東洋学・中国学若手研究者のための合宿ワークショップ、山梨、2016年3月(口頭発表)

鈴木舞 2015 「考古学と漢籍—東京大学考古学研究室所蔵漢籍とその特色—」、東文研・ASNET 共催セミナー、第121回、東京、2015年7月(口頭発表)

鈴木舞 2014 「殷金文の字体と工房」、日本中国考古学会、第25回大会、広島、2014年12月(口頭発表)

鈴木舞 2014 「殷墟青銅器の製作者—花東 54 号墓亜長銘青銅器群の字形分析—」、中国出土資料学会、第1回例会、東京、2014年7月(口頭発表)

鈴木舞 2013 「殷代鳥形笄の生産と流通」、日本中国考古学会関東部会、第157回例会、東京、2013年7月(口頭発表)

鈴木舞 2012 「盤龍城出土青銅器の製作系統」、日本中国考古学会、第23回大会、福岡、2012年12月(口頭発表)

- 鈴木舞 2012「殷代後期社会の発展過程に関する一考察—墓に副葬された青銅戈を中心に—」、北海道大学東洋史談話会、札幌、2012年6月（口頭発表）
- 鈴木舞 2012「青銅戈副葬に見られる殷墟遺跡の変遷」、日本中国考古学会関東部会、第146回例会、東京、2012年1月（口頭発表）
- 鈴木舞 2011「筭類から見た殷周時代—鳥形筭を中心に—」、日本中国考古学会、第22回大会、東京、2011年12月（ポスター発表）
- 鈴木舞 2009「東京大学文学部列品室所蔵青銅爵の製作技術とその製作背景」、アジア鑄造技術史学会、第3回大会、東京、2009年8月（口頭発表）
- 鈴木舞 2007「青銅器製作工房より見た殷墟小屯遺跡」、日本中国考古学会、第18回大会、東京、2007年12月（口頭発表）
- 鈴木舞 2006「殷墟小屯遺跡の研究—鑄造関係遺物・遺構を中心に—」、日本中国考古学会関東部会、第117回例会、東京、2006年6月（口頭発表）

[解説他]

- 鈴木舞「古代中国の考古学」、東京大学総合研究博物館、『東京大学総合研究博物館常設展示図録—知の回廊—』、pp232-233、2016年
- 鈴木舞「考古・文物」中国研究所編『中国年鑑2016』、2016年
- 鈴木舞・久保田慎二・長尾宗史・安食多嘉子・角道亮介「日本における中国考古学関係文献目録（2013年）」、日本中国考古学会、『中国考古学』第14号、pp193-213、2014年
- 鈴木舞「新刊紹介 平勢隆郎『「八紘」とは何か』』『史学雑誌』2013年第12号
- 鈴木舞「回顧と展望 殷・周・春秋」『史学雑誌』2013年5号

[翻訳]

- 万俐・田建花・李軍（鈴木舞・丹羽崇史訳）、「戦国時代の透空蟠龍紋方壺蓋に関する再分析及び考察」、『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』10号、アジア鑄造技術史学会、pp15-17、2016年
- 劉煜（鈴木舞訳）、「中国古代青銅器の鍛造技術について」、『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』9号、アジア鑄造技術史学会、pp16-19、2015年
- 張昌平（鈴木舞訳）、「盤龍城青銅器の鑄掛け」、『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』8号、アジア鑄造技術史学会、pp16-18、2014年
- 万欣（鈴木舞訳）「朝陽発見の唐代鉄器に関する初歩的考察」、『奈良文化財研究所学報第91冊 朝陽地区随唐墓の整理と研究』独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・中国遼寧省文物考古研究所、pp433-477、2013年
- 劉煜（鈴木舞訳）「技術選択と技術様式の形成—鼎を例に二里頭から殷代後期青銅器の技術発展を考察する」、『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』6号、アジア鑄造技術史学会、2012年
- 鈴木舞訳「日文提要」『茂県牟托一号石棺墓』茂県羌族博物館・成都文物考古研究所・阿壩藏族羌族自治州文物管理所、2012年

5. 受賞歴

2014年12月 日本中国考古学会第4回奨励賞（松丸賞）受賞

6. 競争的資金の獲得

- ・ 東京大学学術研究成果刊行助成（2016年度）
- ・ JSPS 科学研究費、若手研究 B、課題番号 16K16939（2016～18年度）
「殷周青銅器銘文の字体と製作法に関する研究」
- ・ JSPS 特別研究員奨励費、課題番号 15J08964（2015～17年度）
「中国殷代社会構造の研究—青銅器・玉器の生産・流通を中心に—」
- ・ JSPS 特別研究員奨励費、課題番号 13J09854（2013～14年度）
「青銅器生産から見る殷代国家形成」

7. 所属学会

日本中国考古学会

アジア鑄造技術史学会

中国出土資料学会（2016年10月～庶務委員会幹事）

北海道大学東洋史談話会

（2016年11月改）